

		【Plan】 計画 / 【Do】 実施										【Check】 評価 / 【Action】 改善							
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の 方向性	R3年度 予算額 (千円)	R4年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R2年度 事業 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R2年度 局施策 評価	R4年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)
						指標名等	現状値 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度									
II-1-(4)-① 危機管理対応能力の向上	1	⑬ ⑭ ⑰	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大規模災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標 3,000 人	実績 1,246 人	達成率 41.5 %	3,000人 (毎年度)	継続	10,818	10,697	維持	11,050	やや遅れ	順調	災害時の防災活動の円滑な実施を図るため、市民、防災関係機関、各種団体及び民間企業等、多様な主体と連携した防災訓練を実施する。 また訓練実施後は、分析及び検証を行い、地域防災計画や防災業務計画等の運用に積極的に反映させるよう務める。
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	2	⑬ ⑭ ⑰	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明された。 また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。 これらのことから、「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数	4校区 (H26年度)	目標 10 校区	実績 0 校区	達成率 0.0 %	10校区 (毎年度)	継続	12,306	11,443	減額	8,050	順調	順調	人材育成事業について、次年度も引き続き市内の大学と連携を行い、地域防災を担う新たな人材の育成に努める。 地域で開催される防災会議の支援については、実施単位を固定せずに柔軟に支援することで、地域の特性がより反映された計画の策定を目指す。 令和2年度「行政評価に活用するための市民アンケート」にある防災知識の認知度や各家庭における災害に対する備えの結果を活用して事業内容の見直しを行う。
	3	⑬ ⑭ ⑰	地域と連携した避難所開設・運営事業	危機管理課	大雨や台風などによって災害が発生するおそれが高まり、予定避難所を開設する際に、避難所の開設と運営を住民と連携して行う事業を実施する。	避難所の開設と運営を住民と連携して行う箇所数	14箇所 (R3年度)	目標 30 箇所	実績 75 人	達成率 125.0 %	60人 (毎年度)	—	—	12,100	—	11,050	—	順調	突発的な大雨でも近隣住民による迅速な避難所開設が可能となること、地域人材の活躍や発掘により地域防災力の向上につながるなどから、令和3年度にモデル事業として、一部の地域に避難所運営を委託した。 令和4年度は、モデル事業の評価を基に制度設計を行い、地域と連携した避難所開設・運営を本格実施するもの。